

第5学年 社会科学学習指導案

1 単元名 これからの工業生産とわたしたち

2 単元目標

- 我が国の工業生産の発展について関心をもち、意欲的に調べ、我が国の工業生産を発展させていくためには様々な課題の解決が必要であり、わたしたち国民の努力が大切であることを理解している。
- 我が国の工業生産の現状と課題から学習問題を見だし、統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して調べたことを作品にまとめるとともに、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて思考・判断したことを適切に表現する。

3 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
我が国の工業生産の発展に関心をもち、我が国の工業生産の現状や課題について意欲的に調べようとしている。 我が国の工業生産の発展に関心をもち、これからの工業生産の発展や持続可能な社会の実現について考えようとしている。	我が国の工業生産の現状と課題から、工業生産の発展について学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて、思考・判断したことを適切に表現する。	統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して、我が国の工業生産の現状や課題について必要な情報を集め、読み取っている。	我が国の工業生産の現状と課題について理解している。 我が国の工業生産を発展させていくには、輸入と輸出のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取り組みを進めるなど、様々な課題の解決が必要であることを理解している。

4 単元について

本小単元では、これからの日本の工業生産を発展させるためには持続可能な社会を目指すなど、様々な課題の解決が必要であり、わたしたち国民の努力が大切であることを考えることができるようにすることがねらいである。工業生産の現状と課題点を把握し、これからどのようにしていくことが大切になってくるのかについて多面的・多角的に捉えさせる。また単元の終わりには、学習をふり振り返りながら日本の工業生産の発展に自分もかかわることができそうだという意識の醸成をねらい、自分の「夢の工業製品」を試作するプログラミングを取り入れた学習活動を行う。

5 教科の学習とプログラミング教育の関連

社会科は、「つかむ」→「調べる」→「まとめる」→「いかす」の問題解決的な学習過程で、社会の一員としての資質を育てる教科である。従来の社会科では、「まとめる・いかす」活動において、新聞やパンフレットづくりが行われてきた。この「まとめる・いかす」手段の1つとして、プログラミングを活用できるのではないかと考えた。現代の工業生産はコンピュータの利用なくしては成り立たないと思われるほどである。ものづくりのプロセスにコンピュータのはたらきを取り入れた体験をとおして、より実感を伴った理解につなげていきたい。

新学習指導要領解説 総則編に、小学校段階において学習活動としてプログラミングに取り組むねらいの一つとして、「身近な問題の解決に主体的に取り組む態度やコンピュータ等を上手に活用してよりよい社会を築いていこうとする態度などを育むこと」が示されている。日本の工業生産の未来について主体的に考える態度は具体的な活動をとおしてこそ育成できることと考える。

6 学習指導計画（全6時間）

時	学習活動	留意点
1	これからの日本の工業の発展について学習問題や予想、学習計画を考える。	現在の日本の工業生産の課題についてとらえさせ、学習問題を見いだすことができるようにさせたい。
2	日本が持続可能な社会を目指して行っている取り組みについて資料を活用して調べ、必要な情報を読み取る。	持続可能な社会をめざした取り組みが大切であることをとらえさせたい。
3	日本の輸入の特色は、燃料や原料、工業製品などの機械類、食料品の割合が高いことであることを理解する。	日本の輸入の特色について、各種資料を通して読み取って理解していけるようにする。
4	日本の輸出の特色について各種資料を活用して調べ、日本の輸出は機械類の割合が高く、その輸出額は世界トップクラスであることなどの特色を読み取る。	日本の輸出の特色について、各種資料を通して読み取って理解していけるようにする。
5 6	日本の工業の特色と課題についてふり返り、それらをもとにしながら未来のよりよい社会を実現する「夢の工業製品」を考えて模型とプログラミングを活用して試作する。	これからの工業生産にとって大切であると考えられることについて、既習事項をもとに話し合ったり、制作に活かすことができるようにする。

7 本時について

(1) 目標 これからの工業生産に必要なことを考え、プログラムづくりをとおしてよりよい社会を実現するための工業製品として発表する。

(2) 展開

分	学習活動	○指導上の留意点 ☆評価
0	<p>■調べたことをふり返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した日本の工業の特色と課題をふり返り、調べたことを整理する。 	<p>○日本の工業生産を発展させていくには、輸入と輸出のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取り組みをするなど、様々な課題の解決が必要であることを確認する。</p>
10	<p>■これからについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの工業生産を発展させていくためにはどのようなことが必要なのか話し合う。 	
15	<p>■課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>これまでの学習をふり返り、 夢の工業製品を考えよう</p> </div>	<p>○教師が実際にプログラムを組んで基本的な操作方法を理解させる。</p> <p>○試行錯誤を大切に、最初から完成形を作るのではなく、動かしながら考えるようにさせる。</p> <p>☆自分たちの生活や社会をより良くするための機能を組み入れた工業製品を考えて発表することができたか。</p>
20	<p>■「動かしてみよう」の使い方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「動かしてみよう」の問題2-1「かべに近付いたら止まってみよう」をもとに基本となるプログラムを知る。 ・本体に付いているセンサーについて確認する。 ・自分の生活や社会をより良くすることができる機能を考え、基本のプログラムを改善する。 ・作ったものを実際に動かし、思った動きと違うところを修正する。 	
75	<p>■作品を交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アピールポイントを明確にし、そのためにどのような工夫をしたのかがわかるように友達に伝える。 ・自分の考えた機能を実現するためにどのようなプログラミングをしたか紹介する。 	
85	<p>■ふり返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達作品のよさを見つけ、感想を交流する。 	

(3) 評価 学習したことを活かした工業製品を考え、プログラムづくりをとおして具体化し発表することができたか。